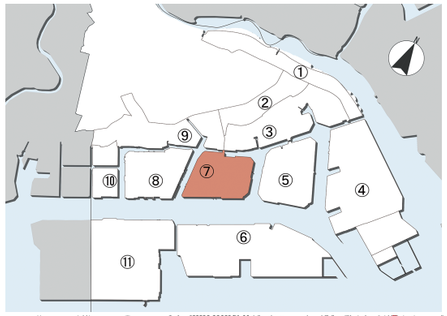
7 ～アクションマップ～ 水江町地区

凡例

- 市域
- 対象地区範囲
- 国際戦略総合特別区域
- 都市再生緊急整備地域
- 特定都市再生緊急整備地域
- 課題・問題箇所
  - 交通・道路
  - その他
  - 環境
  - 防災
- バス停
- 鉄道駅
- 課題解決アクション完了箇所
- 企業・官民連携による取組

SCALE 1/12000　0　100　300　500m



川崎臨港警察署前

池上新田公園

昭和冷蔵

雨水滞水池

ヱスロン シーガス鋼管

浅野町工業団地

JFEスチール

JFE プラントエンジ

日本ヘリウム

トラックの路上駐車（昼食時・休憩時）が多い

産業道路までの歩道は暗く自転車通勤は危険

入江橋の耐震補強工事(2013.12～2014.12)

池上町

通勤車両等により17時頃渋滞

緑のアメニティ・交通レスト機能導入に向けた取組　1期整備(2022)

夜光

東京電力

日本セオン

川崎シーサイドアスコン

川崎タンクローリー輸送

陸運事務所

京浜リサイクルセンター前田道路

旭化成

ESR

川崎ゴルフセンター

入江崎グリーンセンター

入江崎水処理センター東系

大同特殊鋼 川崎テクノセンター

ENEOS

入江崎水処理センター西系

（かわさき南部斎苑）

東西オイルターミナル

日本食塩製造

JFE構内道路

千鳥運河（幅130～150m）

エア・ウォーター・ハフォーマンスケミカル

日本乳化剤

昭和電工

水江運河（幅150m）

JFEスチールの高炉等休止(2023.9)に伴い、土地利用転換を検討

JFE(物流)

西水江

東亜石油

日立造船入口

日本触媒

サンアロマー

東亜石油　産業観光施設
工場見学の受入
(財)国際石油交流センターが実施する研修生受入事業に協力

横断歩道新設(2012.4)

市道水江町1号線の再整備及び周辺環境整備（2010完成）
重点整備地区の唯一の進入路でかつ玄関口にふさわしい道路環境として再整備

立地企業の状況を踏まえ、臨港バス路線の停留所名称を「日立造船前」から「エリーパワー前」に変更
立地企業の従業者数増に対応し、川12・21系統を増便(2013.2)

レノテック

昼食時弁当屋が数件路上販売を行っている
路上駐車し食事・休憩をするトラックが多い

リバース

京浜バイオマスパワー

J&T環境

大陽日酸

JFE扇島正門前

日東亜船前

アイザワ

木材開発

エリーパワー前

エリーパワー

ゲットマン水江

JFEアーバンリサイクル

JFEプラリソース

池上運河（幅130～200m）

塩浜運河（幅280m）

大師運河（幅350m）

日油

ENEOS

東京油槽

クレハ環境

市営埠頭

JERA川崎火力発電所

ちどり公園

出光ルブテクノ

水江町

ENEOS

日本通運

小野建

JXTGエネルギー

徳山生コンクリート

東洋埠頭

隅田冷凍

コアレックス三栄

ゼロ・エミッション工業団地

東亜石油

川崎アスコン

水江町公園

信号機に地点名表示「水江町東側」を設置(2011.4)
地区来街者に対して適切な誘導を行うため、共同サインの設置を検討

臨海部の交通機能強化に向けた実施方針の策定(2021.3)
川崎市で初めての取組となるBRTの導入（川崎駅～水江町）(2023.3)

水江町線工事ヤードに活用

雨天時の道路排水不良（日東亜鉛周辺）

防災用浮き桟橋
（水江町側1基は現在工事中のため、千鳥町に仮保留中）

水江町線工事ヤードに活用
（工事終了後は港湾緑地へ）

臨港道路東扇島水江町線
計画区間/全工区:川崎区東扇島～水江町（3.0km）
道路区分/第4種1級
車線数/往復4車線・歩道（片側）
構造/橋梁・擁壁
工事予定期間/2014～2028年頃（本線、OFFランプ）
～2031年頃（ONランプ）
トラック等の路上待機を解決すべく、賑わいを含めた水江町緑地と併せ高架下の活用検討（2024～）

京浜運河
（幅600～700m）

JFE線（臨港バス）
・川崎駅前とJFE扇島地区を結ぶ路線
・一般旅客がJFE敷地内に入るには入構許可証が必要

JFEスチール海底トンネル
1974完成　総延長1540m

川崎港

北公園

【共通課題】
・皐橋水江町線の交通渋滞
・臨港道路東扇島水江町線の整備
・従業員の確保が困難
・工業用水の料金が高い
・食事・買い物など、生活利便施設の不足（売店・食堂・ATM）
・護岸整備を含む地震対策の実施
・定期修理対応の臨時駐車場の確保